

環境掲示板

松ぼっくりなどを使ったクリスマスグッズ作り

主催 三鷹市

日時 12月6日(土)から12月21日(日)の
開館日(水・木・土・日)の10:00~16:00

場所 三鷹市リサイクル市民工房

申込 直接リサイクル工房に問合せ 無料

問合せ リサイクル市民工房

0422-34-3196

三鷹市環境映画「earth アース」上映会

主催 三鷹市

日時 12月7日(日)13:00~15:00頃

開場 12時半 入場整理券は11時半より

場所 三鷹駅前コミセン地下1階大会議室

座席 120名

問合せ 環境対策課 内線2523,2524

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 12月7日(日)13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 無料

問合せ 0422-31-9033

不用になったハンカチからリボンバスケット作り

主催 三鷹市

日時 12月10日(水)13:00~15:30

編集後記

今月は編集会議の開催が遅くなり、発行までに時間が厳しかったが、自然環境を中心にした記事で、何とか紙面を作り、発行できました。ほっとしています。(安達)

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 市内在住か在勤のかた 定員8名

申込 12月3日(水)必着の往復はがきで

ごみ対策課へ申し込む 無料

問合せ ごみ対策課 内線2535

野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 12月13日(土)9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 無料

問合せ 0422-31-9033

第42回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ 「生き物たちの時間割」

日時 12月20日(土)15:30~17:30

事前に申込みが必要 参加費300円

申込み・問合せ大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

若竹からミニ門松作り

主催 三鷹市

日時 12月24日(水)・25日(木)・27日(土)・28日(日)の10:30頃~

または13:00頃~

定員 各日5名程度

場所 三鷹市リサイクル市民工房 無料

申込 12月21日(日)から直接リサイクル工房に直接または電話で申し込む(先着順)

問合せ リサイクル市民工房

0422-34-3196

発行：みたか環境活動推進会議

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

みたか環境ひろば

第7号

2008年12月1日発行

野川公園自然観察園

～ ボランティアたちが自然環境の保全に活躍 ～

都立野川公園は、昔、国際基督教大学のゴルフ場であったところを東京都が買収し、昭和55年に都立の公園として開園しました。公園の中を野川が流れており、野川の左岸(北)は、国分寺崖線に接していて、そこに自然観察園が設置されています。野川の右岸(南)は、今でもゴルフ場の面影が濃厚に残っていて、広々とした公園です。

自然観察園は、昭和63年にオープンしました。同年から公募したボランティアが緑の保全活動を開始しました。ほたる観察会も実施されました。平成2年からは野鳥観察会が、平成4年から植物観察会が始まりました。

現在も、約100名の野川公園愛護ボランティアが緑の保全活動をおこなっています。

愛護ボランティアの会では、月3回2時間の定例活動を行うと共に、植物グループ、野鳥グループ、作業グループ、昆虫グループ、ほたるグループの5つのグループに分かれ、自主的な活動も行っています。

あなたもボランティア活動を始めてみませんか? ボランティアの募集は年に



野川公園内を流れる野川(桜橋付近)



市民大学総合コース受講生のための植物観察会

1度だけあります。募集は、東京都の(2月頃の)広報に掲載されます。3月8日(予定)に説明会があり、その後、ボランティア登録の事になります。(安達)

世界の水問題と日本が輸入する仮想水

～市民大学で学ぶ「身近な水と地球環境」～

社会教育会館の市民大学総合コースでは、今年5月から、東京農工大学名誉教授小倉紀雄先生をメイン講師に迎えて、「身近な水と地球環境」をテーマにして、年30回の講座が開かれています。水の特異な性質、水の循環、水資源、仮想水、水質汚染、地球規模の環境問題などを学んでいます。フィールドワークもあり、野川では水質検査、井の頭公園池では透視度と水質検査を行いました。当日の井の頭公園池の透視度は約14cmで、深さ1m50cmの池の底までみえるように澄んだ水になるには、10倍ほどよくならなければならないとの結果でした。

ところで、日本人は、どのくらい水を使っているのでしょうか？ 11月に、東京大学准教授の鼎（かねえ）信次郎先生から、世界の水の問題を学びました。日本人が一人当たり年間に使っている水の量は、

飲み水は約1m³/年・人、
家庭用水は約130m³/年・人、
工業用水は、約110m³/年・人、
国内の農業用水は約500m³/年・人、
海外の農業用水が約500m³/年・人、
合計は約1250m³/年・人です。

ここでの、海外の農業用水は、日本が輸入する食料の生産に使用されている大量の「目に見えない水（仮想水 Virtual



七井橋で池の水の透視度を測定

Water）」の事です。日本は、食料自給率が低く、食料を多く輸入しています。その輸入食料の生産に使われる水の量は非常に多く、そのため、日本の水資源を考える時には、世界の水資源問題にも目を向けることが必要になってきます。牛丼一杯に、水資源が2m³も使われている事実は大変な驚きを覚えます。

ところで、地球に存在する水は、海水が97.5%、淡水がわずかに2.5%、そして、人類が利用できる水は0.01%にすぎないのです。世界の食糧生産にとって、水不足は最大の脅威となります。

日本は比較的水に恵まれています。世界的にみれば、水問題は深刻で、人類の持続的な発展を左右する重大な問題です。水は循環する資源であり、水のマネジメントが非常に重要であるといわれています。

花壇ボランティア講座

～花壇の作り方から管理まで～

緑と公園課主催の花壇ボランティア講座は、グリーンコーディネーター八原ダリ先生の指導で、6月から始まり、11月に第5回目の講座がありました。実習をしている三鷹図書館の花壇も、設計から始まり、土づくり、花苗の植え付け、球根の植え付けなどをおこない、10月には4回の特別実習もおこない、花壇はもう80%ほどできあがりしました。宿根草の切り戻しについては、連雀コミセンや牟礼コミセンでも実習させていただきました。今、三鷹図書館の花壇で咲いているのは、ビオラ、パンダスミレ、ランタナ、ルリマツリ、マーガレット、エリ



三鷹図書館の花壇

カ、シュッコンアスター、バラなどです。ヒヤシンス、ムスカリなど春にさく球根も植えてあり、春が楽しみです。

野川で繁茂する外来植物

アレチウリとオオブタクサ

夏、野川の河川敷では、アレチウリとオオブタクサが繁茂します。アレチウリは一年生草本ですが、昔からそこにいた生き物を脅かす侵略的な外来生物（植物）として、外来生物法で特定外来生物に指定されています。オオブタクサも一年生草本ですが、成長が大変早く、大型になり、高さが3メートルほどにもなります。

今年の8月から10月にかけて「みたか野川の会」が、富士見大橋から大沢橋の間の野川の河川敷で、アレチウリとオオブタクサなどの除草をおこないまし



野川のアレチウリ

た。いつまでも野川の豊かな自然環境が維持されるため、できることから始めたいとの主旨で行われています。

「みたか野川の会」の間合せ先は 安達（電話0422-34-1165）です。